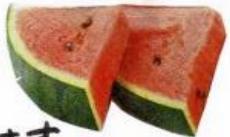


# 今月のなかはなさん 令和4年8月号



今年で終戦77年 今回は利用者からおきした戦争体験をご紹介します。

80歳代のAさん お父さんに招集命令書が届いたAさんのお話です。

「伊勢を発つ前に赤子だった私をつれて写真館へ行ったそうです。その写真があるからこの人がお父さんだったんだとわかります。」

90歳代のBさん 明野の航空隊で勤めていたBさんのお話です。



戦時中 想像もつかない  
体験を乗りこえられてきた  
利用者様の手

「滑走路〇〇番見送りに行くように、特攻隊の同僚を見送る放送が入る。職員は一列に並びもう再び帰ってこない同僚を何人も見送った。みんな死ぬために…。いざとなったらこれを飲むようにと職場で配られた薬をいつも持っていました。敵機が落ちてきたら、竹やりを持って突け!と早く練習もした。婦人会の人も竹やりを持ってました。戦後は、食料難で、紋付き袴、嫁入り衣装全部持て田舎の農家さんにお米や野菜と物々交換してもらつた。お金なんて何の役にもたたない。生きていくのにどなたも精一杯の毎日だった。」

戦争は勝ても負けても悲惨、戦争は二度としてはいけません。」  
この言葉を最後に、戦争体験の話を終わりました。



7月の誕生日会 バルーンからの笑顔がみれ、スタッフも  
バルーンがじ~んとうれしくなりました。



おはな通信を読んで頂き  
いつもありがとうございます。  
朝もよろしくお願ひ致ます。

おはな 感謝

小規模デイサービスなかはな